

化石研 ニュース

号外 2019/08/13

編集・発行:化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高森祐司気付

井尻正二記念講演会 のおしらせ

本年は、化石研究会の創設者の一人である井尻正二氏（1913年6月26日～1999年12月1日）の没後20年にあたります。井尻氏は、化石研究会の創設と発展に大きな功績を残されたばかりか、古生物学、地質学、生物学、さらに自然科学の広い分野に多大な影響を与えられました。そして、科学の研究と普及、研究条件の獲得のための組織づくりに多大な力を発揮されました。また、科学論をはじめとする、弁証法の研究分野においても重要な著書を多数残されました。これらの井尻氏からの教えを、今後の世代に受け継ぐための機会として、記念講演会と討論を含めた交流会を企画しましたので、ひろく多くの方々の参加を呼びかけます。

- 日時：2019（令和1）年11月24日（日） 午後1時～午後6時30分（予定）
第1部：講演会
第2部：討論交流会（立食）
- 会場：「嘉ノ雅 茗溪館」（東京都文京区大塚1-5-23）
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分
- 講演：後藤仁敏、吉田健一、矢野孝雄、犬塚則久、近藤洋一、小林忠夫（予定）
- 連絡先：小寺春人（世話人代表） maggot@kzh.biglobe.ne.jp
〒240-0052 横浜市保土ヶ谷区西谷町1259-1-120 電話 045-382-3820

なお、会の詳細な内容や参加申し込みの方法につきましては、

9月に発行を予定している次号の『化石研ニュース』でお知らせします。

>>> 書籍の紹介 <<<

「地球の隆起 山はなぜ高いか」

星野 通平 [著] 頒価： 2000 円 / 2019 年 5 月発行
発行： 「山はなぜ高いか」刊行会 / 取扱 イージー・サービス (egssato@outlook.jp)

本書は長年にわたり海水準上昇と地球の膨張との関連を研究した著者の最新の普及書である。著者は執筆直後から、2 度にわたる長期入院とその後のリハビリテーション生活の中で、本書を完成された。「まえがき」の中で、お世話になった「井尻正二さん」にも謝辞を述べている。

本書は、Ⅰ「地球隆起の駆動力と隆起の形態」、Ⅱ「日本列島各地の地殻隆起」、Ⅲ「隆起の駆動と隆起形態についての要約」のⅢ部構成である。地質学に関する内容であるが、地球の膨張や海水準変動は生物進化にも関係する問題である。また著者が 154 頁に述べている「地球の半径増大から、古生代前期の地球の 1 年は 400 日で、現在の 1 年は 365 日である」という提起も興味深い。一読をお勧めする。 (三島弘幸)

>> 事務局だより <<<

- 会誌の発送が遅くなってしまいましたことをお詫び申し上げます。
 - 多くの会員の皆さまに、会費を納入いただきました。どうもありがとうございます。
- 未入金の方の皆さまも納入よろしくお願いいたします。

編集・発行：化石研究会事務局
〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1 群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付
TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp
ホームページ <http://kasekiken.jp/>
郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288
名 称 化石研究会 (カセキケンキュウカイ)
年 会 費 一般 4000 円 (学生 2000 円)

この化石研ニュースは、上記の化石研究会のホームページではカラーで見ることができます。
現在、印刷版のニュースが郵送されている方の中で、郵送しなくても良い方は是非ご連絡ください。